

評価項目	本年度の活動(具体的な手立て)	活動指標	達成状況	成果指標	達成状況	成果と課題	学校関係者評価	今後の改善点
グローバルな視点で主体的に学び、社会に発信する子ども	アクティブ・ラーニングを導入した教育活動	学年による提案授業の実施7回 一人一台端末(Chromebook)を日常的に活用することで、個別学習及びグループ単位での協働的な学習を行う。 定期的な家庭への持ち帰り(長期休業期間中の持ち帰り)平日:1,2年 1週間に1回程度 3年~6年 毎日)		・全国学力・学習状況調査 児童質問紙「課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいったと思う」80%以上 結果【87.6%】 ・旭が丘小児童アンケート「思ったことや考えたことを発表している」80%以上 結果【1,2年 79.1%】 【3年~6年 57.0%】 ・旭が丘小児童アンケート「クロムブックを使った勉強は楽しいですか。」1・2年 結果【1,2年 96.8%】 【3年~6年 90.3%】 「学習の役に立つと思いますか。」3年~6年 80%以上 結果【1,2年 96.8%】 【3年~6年 90.3%】	○ 1,2年 △ 3~6年 △ 全学年 ◎	国語科を中心に対話活動を授業に位置付け主体的な学びを目指した探究的な学習の研究を進めている。児童自らの問い・疑問を出発点に課題解決に向けた授業展開を行うことで、自分の考えをもち、発信できる児童を育てていきたい。また、効果的な対話活動を通して考えを広げたり、深めたりしながら学びを確かめるのにできる児童を育てていきたい。 また、今年度より朝の学習の時間に月2回の対話トレーニングを実施している。授業における対話活動の取組の基盤となる力を育てると同時に、自分の考えを発言する力を向上させ、児童の自信を上げていきたい。 昨年度と同様、授業でのクロムブックの積極的な活用方法を工夫してきた。また、発達段階を踏まえ、日常的に家庭へ持ち帰り、課題の動画や写真を撮ったり調べ学習をしたりするなどの家庭学習に取り組んだ。一方で、クロムブックの有効的な使い方を検討したり、適切な使用方法については継続し、指導したりしていく必要がある。	・児童自らが問い、疑問を発言することは非常に大切であると考えておりますので、今後も継続して行って欲しいと考えております。 ○対話のトレーニングをしていることを初めて知りました。「友だちとの話し合いで授業でも自信をもって発言しやすくなった」と子どもも言っていました。 ・今後の人生においても人との対話は重要であると考えており、自分の考えを発言する力を身につけてもらいたいです。 ▲クロムブックの毎日の持ち帰りを少し減らしてもらえるとありがたいです。低学年には重たいようです。 ○クロムブックの活用は家庭学習でも非常に有効かつ効果的であると思います。また、パソコン慣れというところでは小学生から行うことは今後社会に出たときに違和感なく使用できるのでいいことだと思います。また、適切な使用方法については継続して指導を行って頂きたいです。 ○▲クロムブックの活用で児童の学習意欲や自主的な学び、授業の効率化等で効果が出ているが、指導にあたっては教職員間のスキル格差が無いようにすることが望まれる。 ○▲鈴鹿市では、GIGAスクール構想で第1期からGoogle ChromeOSを使用しているのは良いことだと思います。 ChromeOSは、Linuxを基本にGoogleが独自に開発したOSであり、このOSはクラウドでデータを保存し、ブラウザだけのソフトなので画面展開が早い。また専用端末のChromebookで、重さも軽いですが、それでも学校と家庭の持ち歩きは、低学年では、つらいのではないかと感じています。 ○▲旭が丘小学校では、クロムブックを上手に活用していると思います。勉強で使うのが楽しいと回答した児童が多いのはいいことではないかと思えます。ただ、自ら自発的に発表する児童の割合が少し低いのは、気になりますが、月2回の対話トレーニングなど、先生方の取り組みで、より向上していくことを期待します。	・令和5年度より3年間、国語科で研究を進めてきた成果と課題を来年度以降につなげていきたいと考えている。今年度、重点的に取り組んできた「対話活動」を中心に、引き続き全職員で研修に努めていく。 ・クロムブックを活用した学習や宿題の取組については、効果的な使用方法や課題などを検証をしながら引き続き進めていく。クロムブックが導入されてから、一定期間が経過し、活用方法の見直しや職員のICTスキルの向上などについても、再度、検討していく。
基礎・基本を身に付け、自ら表現する子ども	教科学習における授業改善	全国学力・学習状況調査や「みえスタディ・チェック」の結果を活用した授業改善を行う。 自校採点及び課題解決に向けた校内研修会の実施 2回	○	・全国学力・学習状況調査「みえスタディ・チェック」の国語・算数の結果がいずれも全国・県平均正答率を上回る(4,5,6年)。 ・旭が丘小児童アンケート「授業はよく分かる」80%以上 結果【1,2年 89.1%】 【3年~6年 89.5%】 ・旭が丘小児童アンケート「宿題は自分から進んでやっている」90%以上 結果【1,2年 87.7%】 【3年~6年 84.0%】 ・旭が丘小保護者アンケート「学校とともに分かりやすい授業をしている」80%以上 結果 92.9%	○ ○ △ △ ◎	学力調査、みえスタディ・チェックの結果、4,5年生、6年生ともに全国・県平均を上回った。C・D層の児童の割合は年々、減少傾向にある。 全国的な課題でもあるが、宿題に進んで取り組む割合が中高学年になると減少している。一方で、自主学習に熱心に取り組む児童はいる。今年度、毎学期、家庭学習の強化の一つとして自主学習を中心に取り組んでいる。自主学ランプリや自主学ピンゴ等、取り組み方法を工夫することで、少しずつ前向きに取り組む児童が増えてきた。学習習慣と学力定着のため、小学校段階での家庭学習の習慣は大切であり、自ら学ぶとする児童を育てていく必要がある。また、家庭への啓発も発信していくとよい。	○学力調査・みえスタディチェックの結果は、ともに全国・県平均を上回っていることは、日頃の先生方の熱心な取り組みの成果だと思えます。 今年の学力テストと並行して、文科省が家庭の本の数の多さと学力テストの結果が比例しているという報告がありました。理科や数学の正解率が低いのは、問題文自体の意味がわからないので正解率が低いという話も聞きました。 学力では、どの学科も国語の学力が高いことが要求されます。旭が丘小学校では、国語に重点をおいた教育をするのはいいと思います。読解力を向上させるのは、やはり読書の習慣をつけることが、重要になります。 ・また、スマホやパソコンの活用を、何か知りたい時に利用するといった上手に活用している児童は、学力テストの成績が高いという記事もありました。 スマホは利用時間の多さではなく、その活用の質が良いことが重要だと思えます。 ○学力の向上要因としては、今まで取り組んでいた様々な結果と先生方が熱心に指導して頂いた結果であり感謝しております。 ○自主学習については高学年も低学年も楽しく取り組めていました。自主学のおかげで自ら知りたことを調べたりしているいろいろな知識が増えたように感じています。 ○自主学習をすることによって自分に合った学習方法・内容を知る。その上、保護者にも協力を願う。すばらしい取り組みなので今後も続けていけるようお願いしたい。 ○自主学習を熱心に取り組むことにより、自主学ランプリや自主学ピンゴを取り入れて頂いておりますので、児童のモチベーションUPに繋がったのではないかと感じています。	・今年度取り組んだ「自主学ランプリ」「自主学ピンゴ」「みんなで自主学」といった児童が主体的に取り組むことができるような自主学習の企画・アイデアを今後も職員で検討し、さらなる自主学習の強化を目指していく。家庭学習の定着と自ら学ぶとする児童を育てていけるような取組を今後も推進していく。
読書活動	各学年の系統性をもたせた学校図書館の活用を促進する。	学校図書館を活用した授業の計画的実施(各学年学期1回以上) 日常的な読書習慣に向けた取組 ファミリー読書の取組 2回以上	○ ○	・旭が丘小児童アンケート「本を読むのが好き」80%以上 結果【1,2年 82.3%】 【3年~6年 64.2%】 ・旭が丘小保護者アンケート「お子さんは家庭でよく本を読んでいる」80%以上 結果 37.3% ※一人当たりの貸出冊数: 冊(1月末)	1,2年 ○ 3~6年 △ 保護者 △	低学年での本好きが、学年が上がると減少している。また、本好きな児童とそうでない児童との差が大きいように感じる。本の面白さ、読書の楽しさを伝えるとともに、日常的に本に親しめるような働きかけが、今後も引き続き必要であると感じる。 図書ボランティアさんの活動は充実していききたい。また、読書活動に関して家庭への啓発、連携した取り組みにも引き続き、力を入れていきたい。	▲高学年になると本から漫画に移行している気がします。クラスでのおすすめの本を紹介する時間などを設けてもらおうと友だちが読んでいる本が分かって興味を持ってくれるかもしれません。 ○国語の勉強が好きな児童が半数を超えたこと、読書好きが80%以上ということは、日頃の読書ボランティアさんたちによる読書仲間活動と環境整備など、本に親しむ環境作りが大きく影響していると思われる。 ○継続した図書ボランティアさんの活動はすばらしくとても感謝しています。 ・スマホの利用が本離れと関係するかはわからないが、活用のしかたで文字を読む力はできているのではないかと感じる。 ○読書ボランティアさんには非常に感謝しています。 ▲スマホを使用する時間が増えることにも読書をする時間が減っていることが、本を読む児童とあまり読まない児童とに二極化しているのではないかと感じます。 ○読書ボランティアの「読み聞かせ」活動は、本に親しむ成果につながると感じます。 ▲「読書が好き」のアンケート結果では、高学年のなるほど、好きな比率が減少しているのと、児童が家庭での読書をしているというアンケートでは、やはり低い結果というのが気になります。 今年の学力テスト結果で、文科省が学力結果と、家庭の本の数の多さが(特に100冊以上の本が家庭である)比例しているという報告が、興味があり、読書つまり読解力があることが、学力向上になることはあきらかです。 新聞(2025.10.25中日新聞ベネッセ調査)によると、1日に全く読書しない子どもは、52%で、10年前の34%より上昇していて、逆にスマホを使用する時間が増加するという相関関係が発表されました。この状況を改善していくためには、学校内だけでなく、家庭での環境改善が必要になると思います。保護者が、「読書しなさい。勉強しなさい。」と子どもに言っても、その保護者が、スマホばかり見ているのでは、どうしようもない状況で、家庭の環境をいかに改善していくことが重要になります。	・読書活動については、学校図書巡回指導員との連携を密にし、図書ボランティアさんの協力を得ながら、さまざまな取組を通して読書の楽しさ、大切さを伝えていく。また、日常的に本に親しめる環境づくりや働きかけ、家庭への読書活動の啓発を継続していく。
豊かな感性をもつ子ども	道徳教育	自ら考え、議論する道徳の授業を展開する。 学習内容を自分ごととして考えさせる機会を持つ(毎時間)。	○	・旭が丘小児童アンケート「友達と仲良くしている」80%以上 結果【1,2年95.9%】 【3年~6年96.8%】 ・旭が丘小児童アンケート「人が困っているときには、進んで助けている」(1・2年)、「人の役に立つ人間になりたいと思う」(3年~6年)80%以上 結果【1,2年92.3%】 【3年~6年92.9%】 ・保護者アンケート「思いやりや優しい心が育っている」80%以上 結果95.8%	◎ ◎ ◎	自分事として考え、仲間と議論する道徳の授業を行ってきた。今年度は人権教育にも力を入れ授業を行ってきた。アンケート結果は良好であるので、今後も、よりよい人間関係が構築できるような取組を進めていきたい。 集団生活を送る上で、日常的なトラブルは頻発している。指導の好機と捉え、粘り強く指導をしていきたい。	○先生方の日頃の努力には感謝しています。周りでは人間関係に深く悩んでいる児童はいないようです。 ・道徳は今後においても必要であり、人権は社会にとって最も重要なテーマの一つであると思えます。 ○道徳教育は人権教育に繋がります。現状の指導方針で成果が出てきています。引き続き、仲間と信頼関係、絆が構築出来るよう指導をお願いします。 ▲道徳教育に関連して、少し気になることですが、何かトラブルがあった場合、最近の保護者の中には、自分の子どもの言い分しか信用しないで、防犯カメラなどのエビデンスを見せないと解決しないことがあるようです。子どもに「勉強しなさい。」と言いがら自分はスマホをずっと操作している保護者は、スマホから提供される情報しか見なくて、しかも自分に都合のいい情報しか入らずに生きて、その情報が全て正しいと誤解してしまう。また、家に本がほとんど置いていない家庭では、本を通じて子どもがいろいろなことを学習し興味を持つ機会をなくしている状況です。本を読むことで、いろいろな情報が得られて、その中から正しい情報を選択できる能力を身に付けることが肝心で、自然と道徳も身に着くのではないかと感じます。子どもだけでなく、親(保護者)への指導が必要な家庭も多いのではないかと推測します。学校教育を超えた難しい問題ですね。 ○トラブルについては先生方がトラブルに対して親身に向き合ってくれて頂き、非常に感謝しております。	・引き続き、自分事として考えられるような人権教育に力を入れていく。 ・今後も子どもたち一人ひとりが、よりよい人間関係が構築できるような道徳授業を考えていく。 ・日常的なトラブルは、子どもとともに解決できるように考えていくと共に、保護者の方とも考えて解決できるように連携していくことは粘り強く続けていく必要がある。
豊かな感性をもつ子ども	非認知能力の育成	非認知能力育成を意識した四部会・学年会等の実施及び自己肯定感を高めるための研修会や校内アンケートを実施する。 非認知能力にかかわる校内研修会の実施 1回 非認知能力育成につながる絵本等の活用促進	○ ○	非認知能力にかかわる校内研修会実施 校内ミニ研修実施予定 非認知能力育成につながるよう、関連書籍の配架および一定期間周知を行う。 低学年:ぼかぼかことば 中高学年:いじめ防止川柳	○ ○	3学期校内ミニ研修を実施予定。 いじめ防止月間として11月5日より「いじめゼロ川柳・ぼかぼか言葉」の取組を実施。11月18日はピンクシャツ運動デーとした。	○低学年の子たちはけっけつな割合でピンクのものに身に付けていました。職員室前に貼ってある川柳やぼかぼか言葉を目にすることでそういう言葉を意識して友だちにかけているんじゃないかなと思います。 ・学校目標である「すべての子どもに居場所とやる気を…」自己肯定感を高めるために居場所作りは大切に培ってほしい。 ▲非認知能力の講習を受けてから1年が経過していますが、その後、文科省や教育委員会から何の指導や指示がなければ、現在、教育委員会が指導する「やりぬく力・自制心・自己肯定感・社会性」の4つの非認知能力に取り組んではいかがかかと思えます。本来は個人別に非認知能力の目標を定めるのが通常ですが、小学校では、クラス毎にまた学期毎に目標を定めて、保護者の協力も得て、6年間取り組めば、合計18項目の非認知能力の向上につながるかと考えます。(別紙、参照)	研修を重ねたことにより、学校で行ってきている教育活動との関連性が精査されたため、次年度より生活安全部が恒常的に実施している活動内容と関連付けを行い、継続して取り組むことができるようにしていく。
豊かな感性をもつ子ども	生徒指導	基本的生活習慣に関する課題に取り組む。 「がんばろ10」実施 年5回 そうじの「さ・し・す・せ・そ」を定着させるための重点取組 年3回以上	○ ○	・旭が丘小児童・保護者アンケート「学校のきまりを守っている」90%以上 児童結果【1,2年 90%】 【3年~6年 87.7%】 保護者結果 93.7% ・旭が丘小児童・保護者アンケート「自分から挨拶をしている」児童、保護者 80%以上 児童結果【1,2 85.9%】 【3年~6年 74.1%】 保護者結果 75.4%	1,2年◎ 3~6年△ 保護者◎ 1~2年◎ 3~6年△ 保護者△	きまりを守らせるだけの指導ではなく、きまりの意義を問うこと、きまりは自分やみんなの安心・安全を守るためのものであることを考えさせている。また、学校のきまりの見える化を図ったり、きまりが守れていなければ随時共有しどうしてこのきまりがあるのかを全校で指導をしたりしてきた。さらに、学習規律や掃除の仕方を確認するために、強化週間を設けて取り組んだ。よい姿を前項に共有することで、児童の意識が高まっている。掃除について整美委員会で話し合いと取り組みを行っている。 児童会役員や代表委員を中心に挨拶運動に取り組んでいる。全校で同じ時期に集中して取り組んだことで、異学年の挨拶にふれ、挨拶の気持ちよさを感じ、自分から挨拶をする児童が増えた。一方、継続が難しく、徐々に自分とかわりの少ない人へのあいさつが減っていくことが引き続きの課題である。 両項目とも昨年度より3~6年生のパーセンテージが下がっている。高学年がよい姿を低学年に見せられるように、今後もきまりの意義や自分から挨拶するよさを伝えていく。	・学校での学習やあそびなど共同生活をする上で、必要な規律や約束ごとを、児童に理解をさせて守らせることは非常に重要で、将来大人になり社会に出ると、法律を守り他人に迷惑をかけないという社会生活ができるようになればと思います。また、児童に規律を守らせるだけでなく、児童が更なる上の段階を目指すには、非認知能力の向上が必要になります。生徒指導と非認知能力の向上は一体化して考えることが必要ではないかと考えます。 ・「がんばろ10」の学習規律は、低学年のうち身に付けてほしい。 ○きまりを見える化、より具体的に指導して頂くことで、児童もより分かりやすく行動しやすいのではないかと感じますので、引き続きよりわかりやすく、具体的に指導頂くことで児童の意識向上が図れるのではないかと感じます。 ▲学校の「きまりごと」とは別に、グループで身近で簡単な「きめごと」を自分たちで設定し、自主的に行動させ出来なかった時はなぜ出来なかったのか話し合う取り組みで意識改革をしてはいかがかですか。 ○▲用事で学校にくる時、低学年の子たちは自ら進んで「挨拶してくれるように思います。高学年の子たちからもそのようにいしてもらえたら嬉しいです。 ○今後も白子中学校区の「あいさつ運動」は地域と一帯となって行っていきます。	・学習規律やきまりについては、低学年のうちに身につくように教員がアンテナを高くし、声かけを行います。また、児童が自分の姿を振り返る機会を設定し、全校でとりくむ強化週間や、各学年やクラスの実態に合わせた取組を実施します。 ・あいさつについては、児童が主体的に取り組める活動と一緒に考え、あいさつの気持ちよさを実感させ、地域でのあいさつにつなげられるよう取り組みます。

